

中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】T-38

申請日	2020/10/7	承認日	2020/10/12	委員長	印
レジメン登録	2020/10/13	仮承認日		承認者	印

Ramucirumab(DTXの副作用あり)	病名	非小細胞肺癌	呼吸器外科	医師名	Dr
対象	切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌(RAM+DTXを使用した患者でDTXの副作用が許容できない患者)				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m ² 等)	投与方法 (div.iv.po等)	投与スケジュール(日)													
			1	3	5	8	10	15	20	25	30					
サイラムザ(ラムシルマブ)	10mg/kg	div	○													
投与間隔・休薬期間等: 21日=1コース			←————— 1コース —————→													

【投与処方例(前投薬など)】※0.22ミクロン以下の蛋白透過型フィルター使用

*サイラムザ投与中は、タンパク尿・血圧測定を実施。

尿タンパク 開始後の基準は、3+は中止。2+の場合、1日尿蛋白2g以下に低下するまで休薬し再開。

初回発現時の再開基準: 初回量10mg/kgの場合は8mg/kgに減量。8mg/kgの場合は6mg/kgに減量。

2回目以降発現時の再開基準: 初回量10mg/kgの場合は6mg/kgに減量。8mg/kgの場合は5mg/kgに減量。

*RAM+DTXの開始基準を満たせない場合で、2週間を超える延長が必要な場合、一方または両剤の投与を中止する記載項目より

- day1 ① メインキープ【緑】生理食塩液250mL /div
- ② メイン【赤】生理食塩液250mL+サイラムザ /div 1時間
- ③ 終了後、メインの生理食塩液を流す。

制吐剤セット処方⑧

Day1 レスタミンコーワ錠(10) 5錠(治療の30分前)

参考文献: サイラムザ 適正使用ガイドP63

Hata A, et al. Oncotarget.2018;9:28292-28293

当院患者治療目的以外は
使用不可